

◆鹿児島空港閉鎖問題について

壇上質問

4月26日、軽飛行機が鹿児島空港に胴体着陸したことにより空港は閉鎖され、26日、35便が欠航、27日も午前中、欠航が続いた。

足止めを余儀なくされた乗客は午後10時の空港ビル閉鎖で強制退去させられたとの報道がなされていた。地元で知合いがいる方々は対応出来たであろうが、鹿児島に不慣れな他府県からの観光客はさぞ大変な思いをされたことと思う。空港ビルは管理規則に従った対応をしたと述べているが、このような杓子定規な対応について、違和感を感じた霧島市民は私一人では無かったと思う。このような事故があった時にこそ観光立市を標榜している霧島市の対応が問われる。市民の方々から口先だけの『おもてなし』は意味が無いとの声も聞く。災い転じて福となす、事故は何時起こるか分からない。このような事故があったときの心温まる対応こそが霧島市の評価を高めることになる。この事故について霧島市はどのように動き、どのような対応をとったのか、今後どのような対応をするかを問う。

商工観光部長答弁：質問の本年4月26日に発生した鹿児島空港における小型航空機による胴体着陸事故については、午後5時25分頃に事故が発生し、約3時間に渡り鹿児島空港が全面閉鎖され、鹿児島空港発着便が35便欠航した。

対応した鹿児島空港ビルディング株式会社によると、路線バスの案内や案内所における宿泊手続きもスムーズに進み、また、通常の空港ビル閉館時間の午後9時30分を、この日の状況を勘案し午後10時まで延長して館内滞留の方への対応を行ったとのことである。

なお、市としては、必要があれば人道的見地から臨機応変に柔軟な対応をしたいと考えている。

自席質問

Q：今後は人道的見地から必要であれば、対応するとのことであるが、口先だけではダメではないか、『おもてなし』といっても、このような時に対応できなくて何なの、観光立市としてどうなのと言う事を訴えたい。

市長：鹿児島国際空港は市が直接管理している空港ではない。空港所在都市ではあってもという大前提がある。今回の報道は空港管理事務所、空港ビルディング、鹿児島県とか、いうレベルの方々がしっかり連携を今までも、今も、今後もしっかりした対応をなすべき範囲の事と思う。プライベート機が胴体着陸という報道であった。空港ビルは新聞報道を見る限りセキュリティの事があり、24時間空港ではないわけであり、羽田のように24時間空港であると、それなりに対応する範囲が常識的にある。しかしながら私達の地域では14時間空港運用の時間帯になっている。様々なセキュリティが安心安全の利用が出来る体制を一般的には空港が常に配慮されている。誰でも何時でも何かあったら宿泊所という格好にはなっていない。そういうところを観光立県、観光立市じゃないか、直ちにこうすべきではないかという点はそれは人道上、例えば8・6水害があった時はまさにそういう事を開放している。しかしこの場合、プライベート機が胴体着陸をし、一般エアラインも大きな悪影響を受けた。時間帯は17時過ぎであり、明らかに午後の便が欠航になると決めたのは明るい18時半である。20時に閉館するまで多くの説明がなされ、行くべき人は皆あちこち、残念、しょうが無いという理解をしながら動いた。少数の残った方々に対して、どうなさるか関係された方々が18時半くらいから欠航がはっきりし、近くにあるいは別な場所にも宿泊機能がある色んな所を探しているが、如何にしようと、バスも周りの交通機関もありますと全部丁寧に対応した。でも一ヶ台の複数の方々が空港に泊まることは出来ないかと言われたようである。結果、今までの流れの中で新聞報道等で我々は結果を知ることになる。霧島市さん、どうかこの先をして下さいと言って来たわけではない。霧島市はそれを待っている立場ではない。そこは冷静な事実を見ながら市が何が出来るかを指摘すべきだ。

Q：新聞報道は締め出されたとか、このような対応は出来ないだろうかとこの提言が含まれていた。それは事実ではないという考えか？ 報道がやりすぎだという認識で観光部長は答弁したのか？

商工観光部長：空港ビルディングに詳細を聞いた。最終的に残ったのは 3 名、その中の一人が 24 時間待時させて欲しいとの希望があったとの事。その他の方々はタクシー、バスなど色んな交通網が動いており、自ら対応された。空港ホテルに聞いたところ、空き室もあったとの回答。このような事実を踏まえて今後の対応をする。

Q：南日本新聞の投稿欄で霧島市の方が、怒りと言うか、遭遇された利用者への対応のまずさは目を覆うほどであったと言う意見があった。空港会社は航空会社からの開いてとの依頼には応じるようである。霧島市から申し出がしたらどうだろうか、霧島市から要請があったら、閉鎖しないかの確認はしたか？

商工観光部長：霧島市からの要請に空港ビルディングがどう答えるかは分からない。要請はしていない。

Q：6 月の県議会で鹿児島空港の運用延長の質問があり、県・企画部長は空港使用時間帯延長を検討すると表明している。理由として利便性の向上、観光ビジネス客の増加が期待できる、航空事業者や地元などの関係者と検討を進めたいと発言した。市はどう考えるか、市へ協議の申し入れはあったか？ 時間延長の協議には空港閉鎖問題も含めて県と協議すべきと思う。

企画部長：空港の時間延長の話は聞いていない。今後どうするかは、これまでも空港については時間延長した経緯はあるが、それは十分、地元の説明を尽くし配慮した上で現在の時間帯になっている。今後、時間延長について正式な議論を行う事になると同じ様に十分、住民の方々の理解を得た上でやって行く事になる。

市長：今までは空港利用促進協議会、海外路線国内路線の利用促進シンポジウム等に招かれた時に漏れ聞いた。今後、空港が設置されて 42 年、間もなく半世紀。5 年すると東京オリンピック、2 度目となる鹿児島国体、海外 4 路線、これらの定期路線がディリー運行化への期待もある。来客の増大によって期待もある。国内の航空機も昔に比べると機種が随分と改良されている。航空機騒音も大昔とは段違いである。日本が観光立国であり、私達の地域も観光立県であるという認識を強く持ちながら今後の国や地方の在り方が検討されている。市民や地域に近い関係の皆様との理解と協力を得ながらお互いが前向きに受け止めて行く時代がやがて来る、正式な話がいずれ来ると推測している。

Q：県議会では 23 時まででは検討しようと言っているようだ。24 時間化という事も構想にあるようだ。そうすると今回の胴体着陸の時間帯がああいった時間帯で良かったが夜になった時にどうするのか、霧島市は空港会社とか航空会社に任せれば良いという事ではなく、こういった時にこそ、霧島市に移られた方の理由に空港がある、高速道路があるとなっていた。ぜひ前向きに県とも打ち合わせし、対応をお願いしたい。

市長：成田当たりの 24 時間空港化という実態は、大雑把であるが、概ね 22 時そこそこまでで終わり、朝の 6 時頃から運行。その間は 24 時間化の許可を得られても使われることはありえない。